

施策評価シート(令和2年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0202	政策名	生活基盤の充実	施策主管課	都市政策課	課長名	澤田 利徳
------	------	-----	---------	-------	-------	-----	-------

政策の目指す姿	生活に必要な基盤が整い、快適に暮らしています						
---------	------------------------	--	--	--	--	--	--

施策No	02	施策名	公共交通の確保	関係課名	観光課、東和地域振興課		
------	----	-----	---------	------	-------------	--	--

施策の目指す姿	公共交通が利用しやすくなっています						
---------	-------------------	--	--	--	--	--	--

現状と課題

【現状】
 ・幹線バス路線、観光バス路線の利用者数が減少し、路線ごとの赤字額が増加しており、民間バス事業者の負担も増加しています。
 ・市街地循環バスによるまちなかの移動の利便性について周知が不足しています。
 ・予約応答型乗合交通は利用者が固定化されてきており、新規の利用者が増えていません。
 ・いわて花巻空港の国内線の利用状況はおおむね順調に推移しています。また、国際線は台北、上海に定期便が就航しています。

【課題】
 ・幹線バス路線、観光バス路線の利用者を増やすためさらなる利用促進策を講じる必要があります。
 ・市街地循環バスの利便性について、市民に対し一層周知を図る必要があります。
 ・予約応答型乗合交通の新規利用者が増えない理由を分析し利用促進策を講じるとともに、地元へのPRに取り組む必要があります。
 ・いわて花巻空港の既存路線の拡充や乗り継ぎの利便性を向上させるための新たな国内主要空港との路線の誘致に取り組む必要があります。

前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性

・路線バスの利用者が減少しており、引き続き利用促進を図る必要があるとともに、予約応答型乗合交通の周知により登録者数の増加と利用促進を図る必要がある。また、予約応答型乗合交通の登録者にアンケートを実施しており、その内容に基づき利用者にとって利便性の高い公共交通サービスを提供できるよう改善していく。
 ・新花巻駅有料駐車場の拡張及び料金体系の見直しについては、現在の駐車場を効率的に利活用することを図りつつ、利用状況の推移を見極めながら適正な時期を検討していく。
 ・関係機関と連携したPR活動を引き続き行い、旅行商品造成に取り組むが、新型コロナウイルス感染症の収束状況を見極めながら、まずは国内便の再開に向け、関係者と一体的な取組を行う。

反映状況

・市街地循環バス、コミュニティバスの運行及び広域生活路線バスの運行補助を行うとともに、交通不便地域において、予約応答型乗合交通（5地区）を運行し、市民が利用しやすい公共交通サービスを提供したほか、ポスター・時刻表・公共交通マップの作成により、公共交通の利用促進を図った。R2年度は、市街地循環バス車両（星めぐり号）の老朽化に伴い、バス車両を購入し、3月に運行を開始したほか、利用しやすい公共交通サービスを提供するため、交通結節点（バス待合所）の整備にかかる設計業務を行った。また、交通不便区域を解消するための調査業務を行った。
 ・新型コロナウイルス感染症の影響による新花巻駅有料駐車場の利用者の減少のため、コロナの状況を見極めながら拡張や料金体系の見直しを検討する。令和2年度は、駐車場の出入口部分の舗装修繕及び区画線の引き直しを行い利用者の利便性を図った。
 ・国内線は新型コロナウイルス感染症の影響により、運休や航空需要の減少が目立ったが、神戸線が3月下旬に新規就航した。国際線については、海外での新型コロナウイルス感染症の影響を見たとうえで、発着便の再開時期を関係機関・団体等と確認した。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

(1) 利便性の高い公共交通の確保
 幹線バス路線、観光バス路線の利用促進（周知方法）
 市街地循環バスの利用促進（周知方法）
 ・バス車両（星めぐり号）の老朽化に伴いバス車両を購入し3月に運行開始したほか、利用しやすい公共交通サービスを提供するため、交通結節点（バス待合所）の整備にかかる設計業務を行った。また、ポスター・時刻表・公共交通マップの作成により利用促進を図った。
 予約応答型乗合交通の拡充及び利用促進
 ・交通不便地域において、予約応答型乗合交通（5地区）を運行し、市民が利用しやすい公共交通サービスを提供したほか、ポスター・時刻表・公共交通マップの作成により利用促進を図った。
 (2) 航空便の利用促進
 航空便の増便に向けた関係機関への要望活動
 ・全国民間空港関係市町村協議会での要望、国要望の実施
 いわて花巻空港利用促進のためのPR
 ・市広報に市民向け周知のためのダイア改正について掲載
 岩手県が行う定期便及びチャーター便等の誘致促進事業への協力

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H29	H30	H31	R02	R03	R04
公共バス（市運営、民間運営）の利便性に満足している市民の割合	市民の身近な公共交通であるバス（民間運営、市運営）の利便性満足度を示す指標	市民アンケート測定「普段の生活の中で利用する下記項目の基盤整備状況に満足していますか？」公共バス（民間路線バス、ぶくろ号、デマンドタクシー等）(1)満足、(2)どちらかといえば満足、(3)どちらともいえない、(4)どちらかといえば不満、(5)不満、(1)(2)選択数をカウントし、満足度を測定。分からない、無回答はバス利用者・利用希望者とみなさず分母に含めない。	%	目標値	43.00	43.00	43.00	45.00	47.00	49.00
				実績値	44.70	42.70	42.20	44.05		
いわて花巻空港年間利用者数	空港（航空機）の利用状況を示す指標	岩手県空港課（岩手県空港利用促進協議会）が集計し発表するもの。（国際定期便4路線と国内・国際チャーター便の利用者数）	万人	目標値	42.30	43.10	43.10	52.50	52.70	53.40
				実績値	44.10	48.20	48.50	14.15		
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
C	<p>成果指標「公共バス（市運営、民間運営）の利便性に満足している市民の割合」・・・【達成度b】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地循環バスやコミュニティバス、予約応答型乗合交通の運行や不採算民間路線バスへの支援などにより公共交通サービスの提供に努めており、ほぼ目標値のとおりとなったが、石鳥谷地域において、満足する割合が大きく減少しており、令和2年10月大迫石鳥谷線の路線バス減便などにより割合が減少したと推察される。 <p>成果指標「花巻空港年間利用者数」・・・【達成度c】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により航空需要が大幅に減少したことから、指標を達成できなかった。

4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
なし
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
（公共交通確保対策事業）当日予約に対応した予約応答型乗合交通「予約乗合バス」の導入拡大と地域内交通の見直しを行う。
新たに取り組むべき事業はないか
<p>（公共交通確保対策事業）予約乗合バス体験試乗会やチラシ・ポスター等を活用した事業周知と利用促進の強化に取り組み、利用登録者及び利用者の増に取り組む。また、令和2年度において、幹線バス路線や主要観光路線の維持・配慮を前提としたうえで、湯口・湯本・矢沢・宮野目地域における効果的な移動手段の検討を行ったところであり、令和3年度においても、交通不便地域を解消するため、予約応答型乗合交通を含めた新たな交通手段の導入検討を行っている。</p> <p>（空港利用促進事業）令和3年3月に新たに神戸線が新規就航し、人の往来の機会を増やす可能性が広がっており、国内の就航先は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が多い地域であることから、全国のワクチン接種率の増加状況や感染収束状況を見定め、岩手県空港利用促進協議会等の関係機関と一体的に取り組むことで花巻空港年間利用者数の回復に努める。</p>

5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・民間路線バスの利用者は増加しておらず、路線の維持のためにも更なる利用促進を講じる必要がある。 ・新花巻駅駐車場は、混雑時の駐車場不足や無料駐車場のマナー違反車両対策として、駐車場の増設・整備する必要がある。 ・国内外の新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、国内線の減便や国際線の運休が長期間続いている影響により、花巻空港利用者数の大幅な減少となっており、その回復に取り組む必要がある。
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、更なる利用者の減少が見込まれ、路線バス等の減便の申出等がある中、継続して公共交通サービスを確保・支援するとともに、公共交通を必要とする市民の利便性向上のため、交通結節点（バス待合所）の整備を行う。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、駐車台数が大幅に減少しており、今後の推移を見ながら、駐車場整備の必要性を検討する。 ・新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、まずは、国内線発着便の通常運行化に向けて、関係機関と一体的な取り組みを行う。

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		
	事業内容(活動実績)		対象	意図	成果
			直結度		
010	空港利用促進事業費	観光	間接・少数	間接・補完	C
	岩手県空港利用促進協議会等への支援、並びに連携した利用促進活動を実施、新規路線就航及び増便にかかる要望活動、就航先都市でのPR活動（航空会社、国等への要望活動8回、関係団体との協議、検討会7回）				
020	公共交通確保対策事業費	都市政策	一致	直結	B
	市街地循環バス・大迫花巻連絡バス・中部病院連絡バス・予約応答型乗合交通運行補助（市街地循環バス利用者数：76,909人 予約応答型乗合交通登録者数：4,097人）		A		
030	公共バス支援事業費	東地(建設)	間接・少数	間接・補完	-
	経営改善事業補助金交付（新型コロナウイルス感染症の影響により見送り）				
040	都市施設機能改善事業費	都市政策	間接・少数	間接・補完	-
	花巻駅南駐車場（第1、第2）マルチ電子マネー、クレジットカードによる料金支払方法の拡大（R2からR3繰越）				
050	公共交通事業者緊急対策事業費	都市政策	一致	直結	B
	新型コロナウイルス感染症の影響により、乗合バス事業者やタクシー事業者の経営環境が悪化していることから、事業継続のための支援金を交付（乗合バス事業者：1社、タクシー事業者：14社）		A		